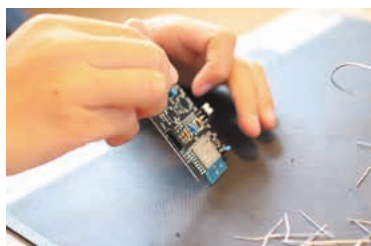


「スマホで操縦できる改造ミニ四駆」を作る ワークショップが開催されました



9月2日(土)、地域活性化センター神川(旧神川中学校)で錦江町MIRAI塾第2弾「スマホで操縦できる改造ミニ四駆を作ろう」と題してワークショップを開催しました。

今回の企画は、お試しサテライトオフィスを利用しているDMM.make AKIBAが主催したもので、通常では直進しかできない「ミニ四駆」の前輪を改造し、基盤を取り付けてスマホやタブレット端末と繋ぐことで操縦を可能にするものです。

参加者は、ハンダゴテを使って基盤の制作などを行い、IoT時代の電子工作やプログラミングの基礎を勉強しました。

参加した福山敏太郎さん(田代中2年)は、「初めてハンダゴテを使って基盤を作ったが、とても楽しく集中して作業できた。思っていた以上に細かい作業で時間もかかったが、完成してタブレットで動かせたときはとてもうれしかった。普段できない経験ができた。」と話しました。

スマートアグリ導入・共同研究 プロジェクトの調印式がありました

9月4日(月)、株式会社福岡園芸のハウス内で、錦江町『まち・ひと・MIRAI』創生協議会と株式会社福岡園芸が共同で行う「スマートアグリ導入・共同研究プロジェクト」の調印式が行われました。

これは、ハウス内に設置したセンサーで温度や湿度、太陽照度などを計測してデータを蓄積し、分析することで農作物の病気予測を行うものです。

株式会社福岡園芸の福岡忠司さん(上之宇都)は、「これまでは、経験や勘、その日の気温や湿度などで病気を予測していたが、センサー・AIの技術を導入することで病気予測の精度が高まることを期待している。生産性や所得の向上に繋がるよう研究を進めたい。」と話しました。



左：ポッシュ(株) 右：(株)福岡園芸

全国中学校体育大会に 出場しました

8月18日(金)～20日(日)に開催された「第47回全国中学校剣道大会」男子個人の部に錦江中学校の菖蒲佳登さんが、8月18日(金)に開催された「第39回全国中学校ソフトボール大会」に錦江中学校がそれぞれ出場しました。

今回、鹿児島県で開催された全国中学校ソフトボール大会では、地元開催枠で錦江中学校野球部OBの3年生11人がチームを組み、県大会を勝ち上がったの出場を果たしました。吉松颯太主将は、「全国大会に出場した経験をこれからの野球でも生かしたい。」と抱負を話しました。



左：吉松颯太さん(錦江中3年) 右：菖蒲佳登さん(錦江中3年)